

施策評価シート	評価対象年度		2023年度		計画		3年目		この施策を記入する課等				農林課/道路河川課/農業委員会事務局						
	評価者	評価者	産業振興部長			担当者		農林課長				担当者		農業委員会事務局長					
	評価者	評価者	まちづくり推進部長			担当者		道路河川課長				担当者							
基本目標	6	活力と賑わいのある自立したまち																	
基本施策	11	多様な産業の活力あふれるまちづくり																	
施策	28	総合戦略	農業の活性化																
施策の目指す姿		須坂の土地や気候を活かした付加価値の高い農業が活発に行われ、市内外から新規就農する人が生まれるまちを目指します。																	
SDGSとの関連		(目標)	1 貧困	2 飢餓	3 持続可能な消費と生産	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギー	8 経済成長・雇用	9 産業・インノベーション	10 人や国々の平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和と公正	17 パートナーシップ
成果指標		指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等					
		農業産出額				千万円	866 (2018)		1,073		950		112.9	果実の農業算出額の増					
		「農業の活性化」の満足度				%	33.4 (2019)		40.8		(意識調査'23)		40	102	シャインマスカット等のぶどうが好調				
		年間就農相談件数				件	46 (2019)		39		50		78	2021年度55件、2022年度37件、2023年度39件					
プロセス指標	達成率評価	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等					
	A	新規就農研修給付金給付者数				人	57 (2019)		92		107 (累計)		86.0	ぶどう人気により就農を希望し移住をしる者や後継者が増えている結果である。					
	C	耕作放棄地解消面積				ha	57.5 (2019)		69.1		82.5 (累計)		83.8	ぶどう人気によるぶどう畑への転換増加。反面、解消面積と同等の新たな耕作放棄地が発生している現実もある。					
	A	中間管理事業を活用した農地の集約集積面積				ha	5 (2019)		21.9		25 (累計)		87.6	大規模な申請案件があるかどうかで年度のバラツキはあるものの利用者の制度理解が進んだもの。					
施策に関連する主な事務事業の評価																			
事務事業名(◆実計)	Ⅰ 必要性		Ⅱ 有効性		Ⅲ 効率性		評価コメント						今後の方向性						
中山間施設管理事業	普通		普通		変わらない		施設の目的(中山間地域の農林業の振興及び活性化並びに住民の健康増進を図るため)を達成できているのか検証し、施設の今後について検討する必要がある。						縮小	現状維持					
農業振興対策事業	高い		有効		変わらない		農業農村の維持に必要な事業で引き続き実施していく。						現状維持	現状維持					
◆鳥獣被害防止対策事業	高い		有効		やや向上		人口減や産業構造の変化などで中山間地での活動が減り、有害鳥獣の個体数は増加傾向にあることから、引き続き電気柵や駆除などの対策により、農産物や市民の生活を守る必要がある。						現状維持	拡大					
◆農業後継者対策事業	高い		有効		変わらない		直近の統計では、須坂市の農業従事者の約56%が70才以上で、10年前より556人減少している。農業の維持には、最低でも年60人程度新たに農業に従事する者を確保する必要がある。						拡充	拡大					
農業経営基盤強化対策事業	高い		有効		変わらない		通年雇用ではない農業サポーターの確保は、どの経営体でも苦慮しており、市で支援する必要がある。						現状維持	現状維持					
◆遊休農地解消対策事業	必要不可欠		有効		変わらない		今後、条件不利な遊休農地を税金を投入して解消していく必要性は低い。遊休農地については地域計画の策定・目標地図を作成する中で検討するのが良いと考えている。						現状維持	縮小					
産地ブランド推進事業	高い		有効		やや向上		シャインマスカットを始め他産地との差別化が重要。グリーンツーリズムによる若者受入など、将来須坂に住んでもらえるような取組が必要。国の補助金がないと実施しないイベント事業は見直ししていく。						現状維持	現状維持					
畜産総合対策事業	高い		有効		変わらない		経営体数、頭数ともに年々減少。須高家畜防疫協議会事務局の輪番制等の検討が必要(牛豚鶏いずれも頭数が一番少ない)。北信食肉センターへの負担金額についても検討が必要。						縮小	縮小					
◆農業施設整備事業	高い		有効		変わらない		国県の補助を活用し、農業の基盤となる農業施設の維持管理を引き続き実施していく。						現状維持	現状維持					
◆農道改良事業	普通		普通		変わらない		地元の要望を調整して事業を実施する。						現状維持	現状維持					
◆水路改修事業	高い		有効		やや向上		地元からの要望が多いが、優先順位をつけて実施する。						現状維持	現状維持					
◆農道・水路補修事業	高い		有効		やや向上		地元からの要望が多いが、緊急性の高い場所から事業を実施する。						現状維持	現状維持					
◆基盤整備促進事業	普通		普通		変わらない		今年度は事業計画はないが、継続的に実施する。						現状維持	現状維持					
農業委員会運営費	必要不可欠		大変有効		変わらない		高齢化や担い手不足により遊休農地の増加が予想されることから、推進委員等による農地利用の最適化の推進に向けた活動が重要であり、引き続き事業を推進する必要がある。						現状維持	現状維持					

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等												農林課／道路河川課			
	評価者		産業振興部長			担当者		農林課長					担当者								
	評価者		まちづくり推進部長			担当者		道路河川課長					担当者								
基本目標	6	活力と賑わいのある自立したまち																			
基本施策	11	多様な産業の活力あふれるまちづくり																			
施 策	29	森林の保全・活用																			
施 策 の 目指す姿	適切な森林の育成管理と基盤整備により、森林を社会全体の「緑の財産」として次の世代に引き継ぐまちを目指します。																				
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ			
																					
成果指標	指標名						単位	現状値(年度)	実績値		目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等								
	間伐整備の実施面積						ha	1,138.15 (2019)	1,306.01		1,400	93.3	大規模な間伐があるかどうかで年度のバラツキはある。								
プロセス指標	達成率評価	指標名						単位	現状値(年度)	実績値		目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等							
		経営管理権を設定した森林面積						ha	(2019)			20 (累計)		方針の変更により経営管理権を設定しないこととしたため。							
施策に関連する主な事務事業の評価																					
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント										今後の方向性							
市有林維持管理事業	高い	普通	変わらない	市有林を適正に維持管理するため必要な事業である。										現状維持	現状維持						
林業振興対策事業	高い	有効	変わらない	森林整備を進めていくための、所有者等の明確化の効率化について考えていく必要がある。										現状維持	現状維持						
松くい虫防除対策事業	必要不可欠	有効	変わらない	根本的な対策が無い。日本の名松100選に選定されている臥龍公園については、松くいに抵抗性のある松を計画的に植樹していくことが必要と思われる。										拡充	拡大						
市単治山事業	普通	あまり有効ではない	変わらない	予算規模が小さく局地的な対応になり、治山という面ではなかなか効果が期待できない。大規模な対応をとる場合は市ではなく県や国が主体となる事業が必要。										現状維持	現状維持						
間伐対策事業	高い	普通	変わらない	須坂市独自の事業であり、健全な森林の維持のため必要な事業である。										現状維持	現状維持						
林道管理事業	普通	普通	変わらない	アクセス道路になっている林道の維持管理を実施する。										現状維持	現状維持						
	</																				

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等												産業連携開発課			
	評価者	評価者	産業振興部長			担当者		産業連携開発課長					担当者								
基本目標	6	活力と賑わいのある自立したまち																			
基本施策	11	多様な産業の活力あふれるまちづくり																			
施 策	30	総合戦略	強みを活かした新産業の創出																		
施 策 の 目指す姿	生産性の高いものづくりやサービス産業が行われているまちを目指します。																				
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ			
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 良好な健康と福祉を達成させる	4 質の高い教育をみんなに	5 男女の平等をすすめる	6 きれいな水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーをみんなに	8 豊かになりながら雇用を創出	9 産業とインフラの振興をすすめる	10 人や国ごとの格差をなくす	11 安全で持続可能な都市を創出	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な世界を築こう	17 パートナーシップで目標を達成しよう			
成果指標	指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	製造品出荷額						百万円	133,766 (2018)		140,150		130,015		107.8	2020年度の実績値であり、新型コロナ等の影響もなく堅調に推移したものと考ええる。						
	新技術・新製品開発件数						件	2 (2019)		5		10 (累計)		50	国等の新型コロナ対策の補助金活用の増加により、市の補助金の申請者が減少したため。						
プロセス指標	達成率評価	指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等					
	A	国県などの公募型支援金等申請書作成にかかる支援件数						件	39 (2019)		173		200 (累計)		86.5	現状値誤り(148)コンサルティング業者が携わるのが一般的になってきており、産業コーディネーター・アドバイザーが携わる機会が減少傾向となっているため。					
	A	産学官金連携にかかる各種研究会の会員数						社・団体	175 (2019)		198		190		104.2	メルマガ配信や企業懇談会において研究会のPR、また、産業コーディネーター・アドバイザーの企業訪問、研究会活動の活発化により目標値を達成した。					
施策に関連する主な事務事業の評価																					
事務事業名(◆実計)		I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント										今後の方向性 事業 コスト						
工業振興事業		普通	有効	変わらない	工業団地の緑地等の除草、支障木剪定及び調整池点検等の維持管理は、事業者の働きやすい環境や安全対策のために必要。各団地組合とは引き続き連絡調整、要望等に応えていく。須坂創成高校デュアルシステム協力企業会と連携し、製造業の人手不足の解消を図る必要がある。										現状維持	現状維持					
◆産業連携事業		高い	有効	変わらない	産業アドバイザー等の存在や各種補助事業をPRし、引き続き企業の支援を行っていく。須坂創成高校デュアルシステム協力企業会と連携し、製造業の人手不足の解消を図る必要がある。										拡充	拡大					
◆企業立地推進事業		高い	有効	変わらない	産業団地進出企業に対し、企業立地振興事業補助金などにより適切な支援を行っていく。市内特定地域等の空き工場、空き用地を把握し、立地希望事業者にあつ旋する仕組みづくりも必要。										現状維持	拡大					
		</																			

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等					産業連携開発課									
	評価者	評価者	産業振興部長			担当者		産業連携開発課長			担当者									
	評価者	評価者				担当者					担当者									
基本目標	6	活力と賑わいのある自立したまち																		
基本施策	11	多様な産業の活力あふれるまちづくり																		
施策	31	総合戦略	雇用機会の充実と産業人材の育成																	
施策の目指す姿		働く意欲を持った人たちが、その知識や能力をいかし、豊かな生活を送ることができるまちを目指します。																		
SDGSとの関連	(目標)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																				
成果指標	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等							
	産業人材育成講座の参加者数				人	117 (2019)		172		130		132.3	講座回数の増加により実績値が伸び、目標値を達成した。							
プロセス指標	達成率評価	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	A	高校2年生の職場見学会アンケートで訪問企業に興味を持った人の割合				%	77.8 (2019)		86.9		80		108.6	企業見学会も行っているが、各高校における地元企業紹介事業を中心に実施したことと実績値が伸びた。						
	C	市が主催・共催する就職相談会への参加者数				人	788 (2019)		767		900		85.2	コロナ以降相談会の開催スタイルがwebでの方法に切り替わってきている。新規として高校単位での集団相談会を実施した。						
	A	職場いきいきアドバンスカンパニーへの認証				社	4 (2019)		7		8		87.5	メルマガ・SNSでの発信や企業との懇談会におけるPRにより実績値は順調に推移しているが頭打ちになっている感はある。						
施策に関連する主な事務事業の評価																				
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント										今後の方向性						
勤労者研修センター管理事業	高い	有効	やや向上	指定管理者による適正な維持管理を継続して行っていく。 今年度中に次期指定管理期間の施設のあり方を検討する。										現状維持	現状維持					
勤労者福祉事業	高い	普通	変わらない	勤労者の福利厚生のために必要な事業。勤労者融資利子補給金など全事業の利用が減少している要因を探り、他市町村の状況や事例を参考にするなど、よりよい事業内容を検討していく。 就業支援センターへの相談内容は、悩みや不満など多岐にわたる。就労へつなげるためには、相談者に合った求人情報の提供と人に寄り添った相談支援業務を継続して行っていく必要がある。										現状維持	現状維持					
雇用促進事業	普通	普通	やや向上	人材育成・人手不足対策として、各種講座の開催や補助金による支援は重要。ものづくり人材育成ネットワークを活用し、企業ニーズの把握や講座の周知等を行い、人材育成を図る必要がある。 指定管理者による適正な維持管理を継続する。テレワークの需要の高まりに対し、施設をPRするなど、利用の推進を図る必要がある。今年度中に次期指定管理期間の施設のあり方を検討する。										拡充	現状維持					
産業人材育成事業	高い	普通	変わらない											拡充	現状維持					
技術情報センター管理運営事業	普通	普通	変わらない											縮小	縮小					

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等													商業観光課	
	評価者	評価者	産業振興部長		担当者	担当者	商業観光課長					担当者	担当者							
基本目標	6	活力と賑わいのある自立したまち																		
基本施策	12	交流と賑わいのあるまちづくり																		
施 策	32	総合戦略	商業の活性化																	
施 策 の 目指す姿	個性的で魅力のある店が集まり、歴史ある町並みを感じながら歩いて買い物を楽しめるまちを目指します。																			
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ		
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 良好な健康と福祉を達成	4 質の高い教育をみんなに	5 男女の平等をすすめる	6 きれいな水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーをみんなに	8 豊かになり、働きがいをもてる	9 産業と雇用を創出	10 人や国ごとの格差をなくす	11 住み続けられるまちづくりを	12 持続可能な消費を推進	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な世界を築こう	17 パートナーシップで目標を達成しよう		
成果指標	指標名			単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等								
	年間商品販売額（除：インター周辺開発に関する金額）			億円	852.9（2016）				900			2014年商業統計調査を最後に未調査のため把握できない。								
	「商業の活性化」の満足度			%	19.9（2019）		33.4		25		133.6	コロナ禍を経て個店の減少があったが、魅力のある商店の開店やイベント開催による賑わい創								
	「日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている」人の割合			%	58.2（2019）		62.1		65		95.5	市内にスーパー・コンビニ・ドラッグストアの店舗数が近隣に多く、近隣で買物ができる。								
プロセス指標	達成率評価	指標名			単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等							
	A	新規開設店舗累計数			店舗	5（2019）		30		37		81.1	わざわざ店補助金や創業セミナー、制度資金融資あつせん、やまじゅうチャレンジショップ等、ニーズに合った支援を進めた。							
施策に関連する主な事務事業の評価																				
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント										今後の方向性						
金融対策事業	高い	普通	変わらない	企業活動を行う上で、資金は必要。中小企業における資金需要に対し支援を行うことで円滑な事業活動が期待できる。										現状維持	現状維持					
◆商業振興事業	高い	有効	変わらない	費用対効果を精査し、補助制度の内容を見直し、より効果的な補助制度を検討。重伝建関連の絡みでの補助制度拡充も検討する。										拡充	拡大					

[illegible]

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等												政策推進課			
	評価者	評価者	総務部長			担当者		政策推進課長				担当者									
基本目標	6	活力と賑わいのある自立したまち																			
基本施策	12	交流と賑わいのあるまちづくり																			
施策	34	総合戦略	特色を生かした地域振興の推進																		
施策の目指す姿	須坂市の様々な魅力が全国に発信され、全国に広く認知されることにより、産業の活性化や交流人口・関係人口の増加につながるまちを目指します。																				
SDGSとの関連	(目標)	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 良好な健康と福祉を達成	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等をすすめる	6 きれいな水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーをみんなに	8 豊かになりながら働き続けよう	9 産業と雇用を創出しよう	10 人や国ごとの格差をなくそう	11 安全で持続可能な都市を築こう	12 人や国ごとの資源を大切にしよう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正を達成	17 パートナーシップで目標を達成しよう			
成果指標	指標名					単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等							
	「地域ブランド調査」による須坂市の認知度					%	13.6 (2019)		14		20		70	調査方法から地域ブランド調査の数値が適当でない判断した。							
	「特産品を市外の人にすすめている」人の割合					%	28.2 (2019)		39.8 (意識調査'23)		35		113.7	果物類を中心に、シビックプライドが醸成されつつある。							
	「須坂市を観光地として市外の人にすすめている」の割合					%	20 (2019)		26.5 (意識調査'23)		25		106	特産品ほどではないが「誇れる」意識が高まってきている。							
プロセス指標	達成率評価	指標名					単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	A	信州須坂ふるさと応援寄附金の返礼品提供事業者数					件	50 (2019)		113		75		150.7	事業成果が大幅に向上したことにより、事業者同士の口コミで事業者数が増加した。						
施策に関連する主な事務事業の評価																					
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性		評価コメント										今後の方向性 事業コスト						
地域活性化事業	やや低い	普通	変わらない		恋人の聖地交付金を活用した事業について、事業の成果を見ながら継続の可否を検討していく。										縮小	縮小					
◆信州須坂ふるさと応援寄附金事業	必要不可欠	大変有効	向上		2023年度は過去最高の寄附額となった。今後も寄附額増の取組を進め、市の魅力や特産品のPRをしていく。また、須坂市のファン増を図る。										拡充	拡大					
◆蔵の町並みキャンパス運営助成事業	高い	有効	やや向上		多くの学生が伝統的な街並みの散策などを行ない、蔵造りの建物等を研究材料として活用することで賑わいの創出にもつながった。今後は新たな取り組みも生まれるよう模索していく。										現状維持	現状維持					

[illegible]